

朝夕の涼しい風に秋の気配を感じる日も出てきましたが、残暑は厳しくまだまだ続きます。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないように気をつけましょう。

防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。ここ最近、地震・大雨・台風などの災害が多くなっています。いざという時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。

また、お子さまにも地震等の災害が起こったらどのように行動すべきか、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

ご自宅に事故やけがを招く危険な物がたくさんありませんか？
事故を防ぐために、一度確認をしてみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫する



手足口病

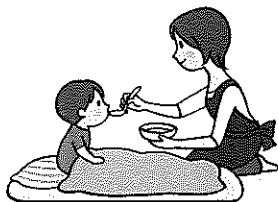
乳幼児の間で流行するウイルス性の夏かぜの一種です。今年は複数回手足口病にかかるお子さんが多いです。複数のウイルスがあり、型の違うウイルスにかかれば何度でもなると言われています。

手足や口の中に水疱や赤い湿疹が出るのが特徴で、ひざやお尻に出ることもあります。また、口腔内に潰瘍を形成し食事・水分が摂取できないこともあります。症状は3～5日で治まりますが、その後も2～4週間は便からウイルスが出るので、周囲の人に感染しないように注意しましょう。

症状がある時は受診をお願いいたします。

登園目安について

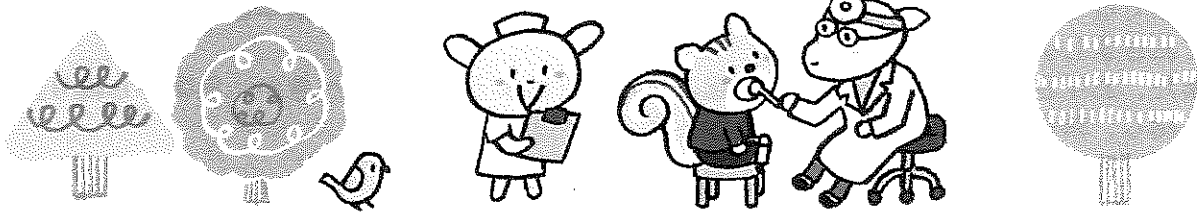
- ・熱がない・解熱後24時間経過している
- ・食事が普段通りできる
- ・機嫌よく、元気である



▼マイコプラズマ肺炎▼

全国でマイコプラズマ肺炎が流行中です！！OURSbabyでは、まだが報告はありません。

初期症状はかぜと似ており、1～2日遅れて咳が出始め、1カ月くらいつこく続くのが特徴です。特に早朝や就寝前に、ひどく咳込む傾向があります。咳が長引き、なかなか改善されない場合は治療薬があるので受診をしましょう。潜伏期間（14日～21日）が長く、感染源の特定は困難ですが、熱やアルコールに弱いので、消毒薬を使用することで予防ができます。咳で感染が広がるため、手洗い・うがいなどもこまめに行いましょう。また、かぜやインフルエンザと同様、免疫力が弱っている時にかかりやすいので、栄養や睡眠をしっかりととり、規則正しい生活を心がけましょう。



予防接種について

予防接種欄のコピー、提出にご協力いただきありがとうございました。

予防接種は自然に感染すると重症化しやすい病気に対してつくられています。病気にかかる前に免疫をつけたり、感染を防いだり、かかってしまっても軽くてすむようにするものです。また、「任意接種」は接種してもしなくてもいいのではないかと思われがちですが、重症化しないためにも任意接種も受けておくことが望ましいでしょう。

受け忘れている予防接種がないか確認し受けていない場合は早めに受けましょう。